

高志山の会 創立 35 周年記念宿泊山行

ごし き が はら じょうどさん りゅうおうだけ おにだけ し し だけ

五色ヶ原 (浄土山・龍王岳・鬼岳・獅子岳)

地形図 1/2.5 万地図 立山

標 高 五色ヶ原 2500m

浄土山 2831m 龍王岳 2872m 鬼岳 2750m 獅子岳 2714m

期 日 令和 8 年 7 月 25 日(土) ～7 月 26 日(日)

所在地 立山町

参加者 23 名 (男性 9 名・女性 14 名)

GCL S・S GSL I・H GSL S・Y

<1 日目> 8 年 7 月 25 日(土) 曇り時々晴れ

立山駅＝美女平＝室堂バスターミナル→室堂→浄土山→龍王岳→鞍部→獅子岳→ザラ峠→五色ヶ原山荘

7:20 立山駅からケーブルカーとバスを乗り継ぎ、室堂バスターミナルへ。

8:30 室堂バスターミナル到着。標高 2450m

曇り空、雨だけは降りませんように。

8:47 GCL より注意事項の説明を受け、各班で準備体操をおこなう。登山開始。意気揚々とスタート。どんな景色が待ってるかな？

9:45 浄土山までの道でも雪渓あり。慎重に渡り切りました。

10:31 浄土山山頂到着。標高 2831m

11:13 龍王岳を望む。今回は近くから見ただけ。先は果てしなく長いのだ！

12:04 鬼岳雪渓手前で昼食。エネルギー補充していざ雪渓へ。

12:42 数か所あった中で最長の雪渓。慎重に慎重に... 無事通過、ほっ。



雪渓を渡って、まずは浄土山へ



龍王岳を眺めながらの稜線歩き

13:37 獅子岳山頂到着。標高 2714m
遥か下にエメラルドグリーンの
黒部湖が！

14:02 ライチョウ発見！なんと親子連れで
5羽ぐらいいました！

15:18 ザラ峠到着。
標高 2348m もう少しだ。



エメラルドグリーンの黒部湖



かわいい雷鳥の親子が出迎えてくれました！



ザラ峠へ急な下り ハシゴを慎重に降りる

16:15 五色ヶ原山荘到着！ 標高 2500m タイム 7 時間 49 分
登って降り登って降りの長かった道のり。
そして岩がゴロゴロ、雪渓、ハシゴ、クサリ…
きつかった登山中に癒してくれた、数々の高山植物のお花やライチョウの
親子。 全員無事に到着！これが何より！

16:40 山荘の方から説明を受け各部屋へ。
なんと、入浴できました。疲れた身体がほぐれる～。

17:40 夕食 GCL よりお疲れ様のあいさつと明日の説明。
就寝までの時間、各自団らん。

20:00 消灯 就寝

(No. 904 N・T)

<2日目> 8年7月26日(日) 曇りのち雨
五色ヶ原山荘→ザラ峠→獅子岳→龍王岳→
一の越山荘→室堂→室堂バスターミナル＝立山駅

4:30 朝食
昨日は5時から朝食と聞いていたが
早まった。



美しいコバイケイソウの群生

5:30 小屋前で集合写真撮影後、真っ白な霧の中出発。

今年はコバイケイソウの当たり年。

池塘の周りはチングルマ、ハクサンコザクラなど花盛りで、さながら極楽浄土のよう。

左に赤く崩れたカルデラを見ながら下る。



チングルマ



ハクサンコザクラ

6:13 ザラ峠

振り返ると、昨日巨大に見えた獅子岳の上りが霧で真っ白。何も見えない。

ひたすら登る。

6:20 5分休憩

6:55 ハシゴと鎖場。

昨日の下りより今日の上りの方が容易に思えた。

7:10 小休憩

8:00 獅子岳山頂到着。小休憩

8:35 雪渓通過。

8:45 鬼岳東面到着。長めの休憩。

9:00 出発

9:05 雪渓通過。

9:20 徐々に雨が本降りになる。カッパ着用。

鬼岳あたりから雷が鳴りだし道を急ぐ。



ザラ峠を歩く



獅子岳頂上

10:15 富山大学立山研究所通過。

10:45 一の越山荘到着。

昼食の予定だったが、雨のためトイレを済ませ早々に出発。

この雨の中、どこまで行くのか。ビニールのカッパを着ている観光客とすれ違いながら道を急ぐ。

- 11:45 室堂到着。
各自、ずぶ濡れの雨具を収納し、着替えなど身辺を整え、昼食をとる。
大きなビニール袋や着替えにツェルトがあると便利だと感じた。
- 12:30 集合
- 13:00 バス出発。
大雨で美女平からのケーブルが動かず、乗換なしで立山駅まで直行。
- 14:00 立山駅に到着。
雨は止んでいた。GCL の挨拶のあと解散。

(No. 791 Y・M)

(山行を終えて)

五色ヶ原山荘の HP に書いてあるように、まさに高山植物や残雪に彩られた雲上の楽園でした。

もう登山開始から花花花！チングルマ、コバイケイソウ、リンドウ、クルマユリ、クロユリ等々、そしてトリカブトも！

ライチョウ親子にも会えたし、景色は最高！（曇ってたけどね）

きつく長く険しい、そして楽しい山行でした！

GCL、GSL、一緒に登った皆さん、そして山荘の皆さんありがとうございました！

(No. 904 N・T)